



令和 8 年 1 月 16 日

国土交通省関東地方整備局

千葉国道事務所

東日本高速道路株式会社関東支社

千葉工事事務所

連絡調整会議(第4回)の開催結果について

～首都圏中央連絡自動車道(大栄 JCT～松尾横芝 IC)～

首都圏中央連絡自動車道(大栄 JCT～松尾横芝 IC)の現在の進捗状況等について、国土交通省、千葉県及び東日本高速道路株式会社で情報共有を図るため、首都圏中央連絡自動車道(大栄 JCT～松尾横芝 IC)連絡調整会議(第4回)を開催しましたので、開催結果をお知らせします。

開催日時：令和 8 年 1 月 16 日 (金) 10 時から 11 時

開催場所：国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 202 会議室

構成機関：国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

千葉県 県土整備部 道路計画課

東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所

議事概要：別添のとおり

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 千葉県政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 千葉国道事務所

電話：043-287-0311 (代表)

副所長 山室(やまむろ) メールアドレス：ktr-chiba-koho@mlit.go.jp

東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所

電話：043-350-3321 (代表)

副所長 大田(おおた) メールアドレス：chibakou@e-nexco.co.jp

首都圏中央連絡自動車道（大栄ＪＣＴ～松尾横芝ＩＣ）連絡調整会議（第4回）

議事概要

1. 日時

令和8年1月16日（金）10時から11時

2. 出席者

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所長 堤 啓

千葉県 県土整備部 道路計画課長 近藤 亮

東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所長 松原 仁

3. 議事

- （1）現在の進捗状況について
- （2）課題の状況について
- （3）今後の開通見込みについて

4. 議事概要

○現在の進捗状況、課題の状況

- ・用地取得率は100%。
- ・前回までの連絡調整会議の4つの課題（用地未取得箇所、芝山トンネルの掘削、重金属の対応及び機能補償道路工事（跨道橋）の入札不調等）については、解決が図られてきている。
- ・用地取得については、全線の用地取得が完了し、各自治体の協力のもと、支障物移設を進めつつ、工事を実施中。
- ・芝山トンネルは、令和7年2月に覆工コンクリートが完了し、設備、舗装工事を実施中。
- ・重金属の対応は完了し、入札不調が発生していた機能補償道路工事（跨道橋）については、すべての工事が完了。
- ・なお、大栄ジャンクション～多古インターチェンジ間の土の性状による盛土の作業能力低下については、改良ヤードや改良機の追加確保を行い、作業能力の回復が図られている。

○今後の開通見込み

- ・前述のとおり課題に対する改善が図られており、引き続き大栄ジャンクション～松尾横芝インターチェンジ間は令和8年度までの開通を目指し、大栄ジャンクション～多古インターチェンジ間は、先行して「令和8年秋頃」開通予定。引き続き、1日も早い開通を目指し工事を進めていく。

○その他

- ・沿線地域では、開通を見越し、新たな開発が計画されるなど、県民や県内の経済団体から開通に対する期待が大きい。
については、開通見込みの確実な達成に向け、引き続き、関係者間で協力するとともに、開通見込みに関わる新たな課題等が発生した場合、速やかに情報共有を図る。

首都圏中央連絡自動車道（大栄 J C T ~松尾横芝 I C）

連絡調整会議（第4回）

説明資料

令和8年1月16日

国土交通省関東地方整備局
千葉国道事務所
東日本高速道路株式会社関東支社
千葉工事事務所

<目次>

1. 現在の進捗状況について
2. 課題の状況について
3. 今後の開通見込みについて

現在の進捗状況について



用地及び工事進捗

○ 平成25年度より用地取得着手。用地取得率は現在100%（令和7年3月末）

○ 大栄JCT～松尾横芝IC間18.5km全線において、土工工事・橋梁工事・トンネル工事・舗装工事・施設工事、実施中

○ 本線に関わる工事契約はすべて完了

※本体工の施工区分であり、舗装・施設については、全線NEXCO施工

凡例： 用地取得済
及び本線工事着手区間

※舗装・施設工事は全線NEXCO施工

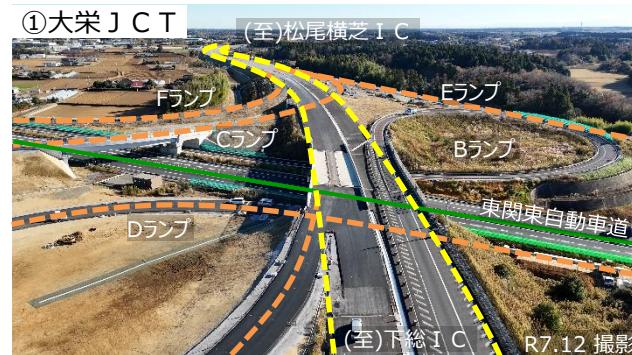
（令和7年1月24日） 前回会議時	施工区分※	NEXCO		国		NEXCO			
	工事状況	土工 舗装工 (施工中)	上部工 下部工 (施工中)	土工 舗装工 (施工中)	土工 (施工中)	トンネル工 (施工中)	土工 (施工中)	上部工 下部工 (施工中)	土工 (施工中)
用地状況									

（令和8年1月16日） 今回会議時	施工区分※	NEXCO		国		NEXCO			
	工事状況	土工 舗装工 (施工中)	上部工 (施工中)	舗装工 (施工中)	土工 (施工中)	舗装工 (施工中)	土工 (施工中)	上部工 下部工 (施工中)	土工 (施工中)
用地状況									

現在の進捗状況について（現況写真①）

■工事進捗状況（NEXCO施工区間：大栄JCT～No35+80）

凡 例
本 線
ランプ・料金所
国道・県道等



現在の進捗状況について（現況写真②）

■工事進捗状況（国施工区間：No35+80～No83+00）

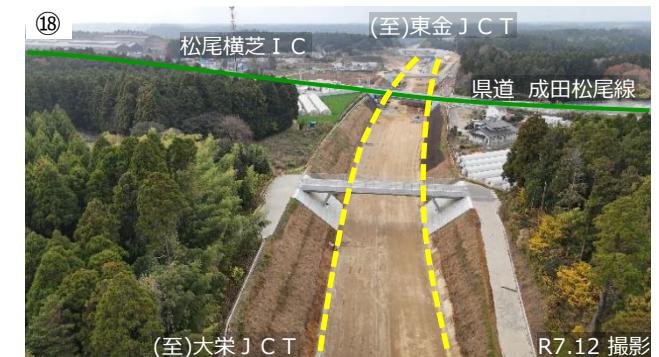
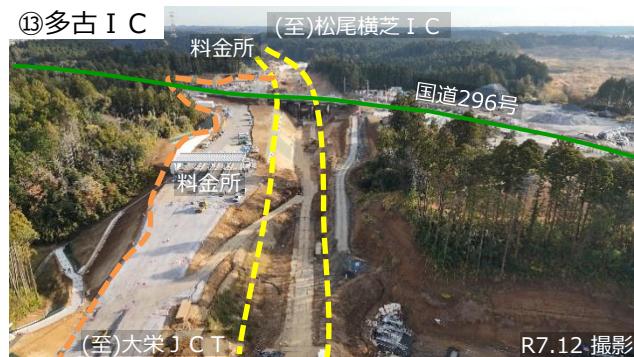
凡 例
本 線
ランプ・料金所
国道・県道等



現在の進捗状況について（現況写真③）

■工事進捗状況（NEXCO施工区間：No83+00～松尾横芝IC）

凡 例
本 線
ランプ・料金所
国道・県道等



課題の状況について

土の性状による盛土の作業能力低下

- 盛土に使用を想定していた切土発生土は、含水比が高く締め固まらない粘土質であったため、含水比を低下させるために石灰と混ぜる改良を実施してきた。
- 切土発生土は、依然として含水比が高い土と含水比は高くないものの、強度が不足している土が不均一に発生しており、土質改良やばつ気[※]に時間をしている。
- また、土質改良が不要な切土発生土においても、降雨により盛土天端等の地盤が緩くなることがあり、盛土の作業能力が低下する事象が発生している。
- 現在は、改良ヤードや改良機の追加確保により、作業能力の回復が図られており、引き続き工程への影響を確認しながら工事を推進している。

NEXCO施工区間

※ばつ気とは、自然に土の含水比を低下させること。



掘削現場

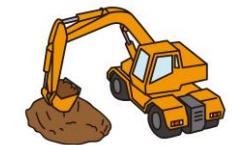


土質改良が必要

土質改良が不要



地理院地図を加工して使用



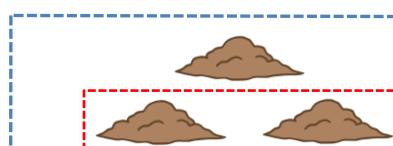
盛土現場



細粒分が多い切土部の洗堀状況



含水比が多い切土部の状況



改良ヤード^{※2箇所追加確保}



土質改良機による改良状況

複数の土質改良機による改良状況



土質改良機



盛土の作業状況

今後の開通見込みについて

今後の開通見込み

- 用地未取得箇所、芝山トンネルの掘削、重金属の対応及び機能補償道路工事（跨道橋）の入札不調などの課題の解決は図られており、引き続き大栄ジャンクション～松尾横芝インターチェンジ間は令和8年度までの開通を目指す。開通時期に関わる新たな課題等が発生した場合、速やかに情報共有を図る。
- なお、大栄ジャンクション～多古インターチェンジ間は、盛土材の改良等を実施し、土の性状不良が改善されたため、先行して「令和8年秋頃」開通予定。引き続き、1日も早い開通を目指し工事を進めていく。

開通見込み 令和8年度※

令和8年秋頃 開通予定

※資機材の調達等が順調な場合

大栄JCT～松尾横芝IC間 延長 18.5 km

延長 約2.8km

延長 約6.3km

延長 約9.4km

